

「職人さんがやると簡単そうなのに、すごく大変でした。」

## 佐々木 小夜子さん



**板**を曲げるのは、1回目にはできなかつたけど、2回目はうまく

く曲げることができました。お盆は、底板をはめるのがちゃんとできてなくて、ちよつとがっかり。職人さんがやると簡単そうなのに、すごく大変でした。

## 泉 大地くん



**お**盆の底板をはめ込むのが、思ったよりも大変だった。うまく

くできなくて、力づくで無理矢理はめ込んだら「ピキッ」と割れてしまつて、残念だった。板を曲げるのはうまくできた。今日はとても楽しかった。

## 谷地田 有沙さん



**お**盆の枠に接着剤を塗るのが大変で、時間がかかつてしま

しました。簡単そうに見えるのに、自分でやってみると意外と難しかったです。板を曲げるのもうまくできなくて残念でした。職人さんの大変さが良くわかりました。

す。面の取り方一つで、触り心地が全然違いました。素人の私達が作るので、作り手それぞれの持ち味たっぷりの製品です。  
接着剤をふき取り、濡れた製品が乾くまでの間には、普段体験することが出来ない、木を曲げる作業を別に行いました。曲げわっぱの大事な部分で、まっすぐな木をお湯で煮て柔らかくしてから曲げ



難しかった底板のはめ込み

ます。普段は素手で持つことが出来ないほどの熱湯に入れて曲げます。今回は小学生が作業するので、お湯の温度を下げてぬるま湯に入れていました。そうして曲げ易くしたものを、「コロ」と呼ばれる「型」と布の間に挟み、実際に曲げる作業をしました。なかなか「コロ」がっている作業で、力任せに曲げると折れてしまいます。お湯の温度



サンドペーパーで仕上げます

が低かったたので、実際よりは曲げにくくなっていたようです。  
体験後、一緒に作業した生徒に話を聞くと、皆一様に楽しかったと話していました。昨年、4年生の時に、社会の授業で曲げわっぱの勉強をし、その後、株式会社大館工芸社に工場見学に行っていたため、今回の体験学習を楽しみにしていたそうです。



「コロ」を使って板を曲げる体験

## おわりに

株式会社大館工芸社をはじめ大館の曲げわっぱの製造会社各社は、無償で工場の案内や、曲げわっぱの説明をしています。大館曲げわっぱ協同組合でも、忙しい時間を割いて市内の小・中学校で体験学習を行っています。

このように、曲げわっぱに携わっている方々が、曲げわっぱの歴史や伝統の継承に奔走しているのが分かり、観光客にはもちろんのこと、次世代を担う子供たちには大変良い経験になっているだろうと感じました。

今回のリポートを通じ、曲げわっぱの全てを理解したとは言えませんが、私自身、初めて知ることも多く、大変勉強になりました。私も遅ればせながら、大館が誇る伝統工芸品と慣れ親しみ、普段日常でよく利用するものから、少しずつ使ってみたいと思います。



できあがったお盆